



平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日

上場会社名 加藤産業株式会社
コード番号 9869 URL <http://www.katosangyo.co.jp>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 和弥
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鷹尾 和彦
四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日 配当支払開始予定日 平成24年6月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

TEL 0798-33-7650
平成24年6月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	358,996	2.8	5,697	4.8	6,314	7.4	3,499	19.3
23年9月期第2四半期	349,259	6.5	5,436	19.4	5,877	19.4	2,934	8.2

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 4,306百万円 (18.5%) 23年9月期第2四半期 3,632百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	93.43	—
23年9月期第2四半期	78.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	232,456		77,806			33.1
23年9月期	218,620		74,437			33.6

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 76,851百万円 23年9月期 73,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年9月期	—	17.00	—	25.00	42.00
24年9月期	—	21.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 23年9月期期末配当金の内訳 普通配当 23円00銭 特別配当 2円00銭

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	725,000	3.2	11,050	3.6	11,800	2.1	6,350	0.8	169.54

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	38,153,115 株	23年9月期	38,153,115 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	699,171 株	23年9月期	698,991 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	37,454,070 株	23年9月期2Q	37,454,434 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響等による厳しい環境の中で、金融緩和政策、震災復興需要あるいは円高の修正等により、一部に景気下支えの兆しが見られるものの、欧米の経済不安、国内における原油価格の高騰等により、先行きは依然として不透明な状況にありました。

食品流通業界におきましても、個人の消費マインドは、雇用・所得への不安に加えてガソリン価格あるいは電気料金の値上げの動きなど、今後への不安から生活防衛意識が一層高まり、内食化・低価格化の傾向がさらに進行する中、企業間競争はますます激化し引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような中で当社グループは、消費者ニーズに対応した商品の開発・品揃え等、提案型営業を推進し、小売業をはじめ取引先との取り組みを一層強化するとともに、諸経費の抑制及び業務全般の生産性向上等による経営の効率化に努めてまいりました。また、平成24年1月27日にジャム類製造業である兵庫興農㈱の株式を新たに取得して子会社とし、製造事業の拡大に向けた基盤の確立と機能の充実を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ2.8%増加し3,589億96百万円となりました。利益につきましては、利益管理の徹底並びに物流コストをはじめ諸経費の抑制に努めたことにより、営業利益は56億97百万円(前年同四半期比4.8%増)、兵庫興農㈱の株式を取得したことによって発生した、負ののれん発生益177百万円を「持分法による投資利益」に含めたこと等により、経常利益は63億14百万円(前年同四半期比7.4%増)となりました。

そして当第2四半期純利益は、東日本大震災により前年同四半期に計上した災害による損失3億50百万円の影響がなくなり、前年同四半期に比べ19.3%増加し34億99百万円となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

<常温流通事業>

当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、昨年の東日本大震災による特需の反動が一部で見られるものの、多様化する消費需要に対応すべく、提案型営業を推進し、仕入先とも連携して主要得意先との取り組みを強化するとともに、自社PB商品の拡売を図りました。

その結果、食品スーパー、生協並びに出店拡大が顕著なドラッグストア、ディスカウントストア等への販売が堅調に推移したことにより、売上高は2,924億36百万円(前年同四半期比3.2%増)、セグメント利益は49億60百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。

<低温流通事業>

低温流通事業につきましては、消費者の内食化の進行により飲食店等外食向けの販売は厳しい状況で推移しましたが、家庭用のチルド商材や惣菜を中心に主要得意先への取り組みを強化し、拡売を図りました。一方、低価格競争の影響を受けて売上総利益率が低下し、物流コストをはじめ諸経費の抑制に努めたものの、利益は前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は403億30百万円(前年同四半期比1.4%増)、セグメント利益は計画を上回ったものの1億68百万円(前年同四半期比21.3%減)となりました。

<酒類流通事業>

酒類流通事業につきましては、消費者の低価格志向が一層強まり、発泡雑酒やハイボール缶は比較的順調に推移し、またアルコール離れの層の需要を取り込んだノンアルコールビール(清涼飲料)類が好調でした。しかし、市場の縮小は続いており、厳しい経営環境で推移しました。

その結果、売上高は288億85百万円(前年同四半期比0.7%増)、セグメント利益は2億24百万円(前年同四半期比4.0%減)となりました。

<その他>

その他の事業につきましては、物流関連(配送、庫内作業請負等)がその主な事業内容であります。当社グループの売上が堅調に推移したことに伴う取扱量の増加等により、売上高は48億57百万円(前年同四半期比2.6%増)、セグメント利益は3億48百万円(前年同四半期比59.6%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ138億35百万円増加し2,324億56百万円となりました。

流動資産は、主に売上債権及びたな卸資産が増加したことから、121億82百万円増加し1,543億12百万円となりました。また固定資産は、投資有価証券の時価評価額の上昇等により、16億53百万円増加し781億44百万円となりました。

流動負債は、主に仕入債務が増加したことから、102億32百万円増加し1,458億88百万円となり、固定負債は、法定実効税率変更に伴い繰延税金負債が増加したことから、2億35百万円増加し87億62百万円となりました。

そして純資産は、33億68百万円増加し778億6百万円となり、その結果、自己資本比率は33.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ47億49百万円減少(前年同四半期は6億4百万円の資金の減少)したことから、411億79百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは14億5百万円の資金の減少(前年同四半期は19億38百万円の資金の増加)となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益62億46百万円、減価償却費16億28百万円、仕入債務の増加94億78百万円等により資金が増加し、一方、売上債権の増加145億29百万円、たな卸資産の増加13億35百万円、法人税等の支払26億71百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは21億91百万円の資金の減少(前年同四半期は16億29百万円の資金の減少)となりました。その主な要因は、固定資産、子会社株式及び投資有価証券の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは11億52百万円の資金の減少(前年同四半期は9億13百万円の資金の減少)となりました。その主な要因は、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月11日に公表しました業績予想に修正はありません。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,978	38,251
受取手形及び売掛金	80,174	94,780
有価証券	3,101	3,103
商品及び製品	11,544	12,775
仕掛品	5	4
原材料及び貯蔵品	496	601
繰延税金資産	782	734
その他	3,521	4,554
貸倒引当金	△475	△492
流動資産合計	142,129	154,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,423	14,906
機械装置及び運搬具(純額)	1,834	1,676
工具、器具及び備品(純額)	298	308
土地	24,617	24,481
リース資産(純額)	999	1,022
建設仮勘定	9	639
有形固定資産合計	43,183	43,035
無形固定資産		
ソフトウェア	3,680	3,725
電話加入権	35	35
その他	10	10
無形固定資産合計	3,726	3,770
投資その他の資産		
投資有価証券	22,188	24,029
長期貸付金	252	244
差入保証金	2,097	2,153
投資不動産(純額)	996	1,177
繰延税金資産	516	295
その他	3,698	3,521
貸倒引当金	△166	△82
投資その他の資産合計	29,582	31,338
固定資産合計	76,491	78,144
資産合計	218,620	232,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	124,366	133,845
短期借入金	408	326
リース債務	329	354
未払金	5,927	6,739
未払法人税等	2,752	2,556
未払消費税等	218	313
設備関係支払手形	7	—
未払費用	201	177
賞与引当金	1,098	1,083
役員賞与引当金	78	38
その他	266	453
流動負債合計	135,656	145,888
固定負債		
長期借入金	463	520
リース債務	689	688
繰延税金負債	101	192
退職給付引当金	5,535	5,601
役員退職慰労引当金	490	472
資産除去債務	119	125
その他	1,126	1,161
固定負債合計	8,526	8,762
負債合計	144,183	154,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,806	8,806
利益剰余金	57,397	59,960
自己株式	△860	△861
株主資本合計	71,276	73,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,283	3,010
繰延ヘッジ損益	△0	0
その他の包括利益累計額合計	2,283	3,011
少数株主持分	877	954
純資産合計	74,437	77,806
負債純資産合計	218,620	232,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	349,259	358,996
売上原価	324,329	333,610
売上総利益	24,930	25,386
販売費及び一般管理費	19,493	19,689
営業利益	5,436	5,697
営業外収益		
受取利息	54	49
受取配当金	121	150
不動産賃貸料	203	182
持分法による投資利益	90	237
その他	132	162
営業外収益合計	602	782
営業外費用		
支払利息	9	7
不動産賃貸費用	146	136
その他	6	21
営業外費用合計	161	165
経常利益	5,877	6,314
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	13	—
災害による損失戻入益	—	22
補助金収入	—	14
特別利益合計	15	37
特別損失		
固定資産除売却損	21	9
投資有価証券評価損	166	95
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券償還損	—	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	93	—
災害による損失	350	—
特別損失合計	631	106
税金等調整前四半期純利益	5,260	6,246
法人税、住民税及び事業税	2,230	2,476
法人税等調整額	41	193
法人税等合計	2,272	2,669
少数株主損益調整前四半期純利益	2,988	3,576
少数株主利益	53	76
四半期純利益	2,934	3,499

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,988	3,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	638	724
繰延ヘッジ損益	5	0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	4
その他の包括利益合計	644	729
四半期包括利益	3,632	4,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,560	4,227
少数株主に係る四半期包括利益	72	78

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,260	6,246
減価償却費	1,706	1,628
投資有価証券評価損益(△は益)	166	95
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	△67
退職給付引当金の増減額(△は減少)	55	65
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11	△17
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4	△15
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△36	△39
受取利息及び受取配当金	△176	△200
支払利息	9	7
持分法による投資損益(△は益)	△90	△237
投資有価証券売却損益(△は益)	△13	0
投資有価証券償還損益(△は益)	—	1
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	△0
有形固定資産除却損	21	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	93	—
災害損失	176	—
補助金収入	—	△14
災害損失戻入益	—	△22
売上債権の増減額(△は増加)	△2,294	△14,529
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,038	△1,335
仕入債務の増減額(△は減少)	2,446	9,478
その他	△102	32
小計	4,199	1,086
利息及び配当金の受取額	179	206
利息の支払額	△9	△7
災害損失の支払額	△39	△18
法人税等の支払額	△2,390	△2,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,938	△1,405

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50	△139
定期預金の払戻による収入	73	116
有価証券の取得による支出	△101	—
有形固定資産の取得による支出	△361	△812
有形固定資産の売却による収入	4	0
無形固定資産の取得による支出	△570	△765
補助金収入	—	14
投資有価証券の取得による支出	△703	△289
投資有価証券の売却による収入	17	0
投資有価証券の償還による収入	—	200
子会社株式の取得による支出	—	△525
投資不動産の取得による支出	△1	—
貸付けによる支出	△5	△7
貸付金の回収による収入	66	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,629	△2,191
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	15	△102
長期借入れによる収入	200	200
長期借入金の返済による支出	△249	△122
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△129	△189
配当金の支払額	△749	△936
少数株主への配当金の支払額	△0	△1
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△913	△1,152
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△604	△4,749
現金及び現金同等物の期首残高	38,686	45,929
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	229	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,311	41,179

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	278,932	39,592	28,463	346,988	2,270	349,259	—	349,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,572	181	212	4,966	2,465	7,431	△7,431	—
計	283,504	39,774	28,676	351,954	4,736	356,691	△7,431	349,259
セグメント利益	4,759	214	234	5,208	218	5,426	9	5,436

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	287,713	40,187	28,713	356,614	2,382	358,996	—	358,996
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,723	143	172	5,038	2,474	7,513	△7,513	—
計	292,436	40,330	28,885	361,652	4,857	366,510	△7,513	358,996
セグメント利益	4,960	168	224	5,354	348	5,702	△4	5,697

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第2四半期連結累計期間において、兵庫興農㈱の株式を新たに取得し、持分法適用非連結子会社としたことにより、「常温流通事業」セグメントに、負ののれん発生益177百万円を計上しております。なお、四半期連結損益計算書上は「持分法による投資利益」に含めております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。